

板紙・段ボール新聞

(昭和35年12月7日、第三種郵便物認可)
毎月7日、17日、27日発行
第二七五〇号
1101199年
元年11月17日

「期待通り」が人気の秘訣

●ISOWAアメリカ(以下、IA)の概要を教えてください

1989年に設立したINA(ISOWAノースアメリカ)を継承して、会社設立は02年、アリゾナ州フェニックスに本社を置く。北米で機械販売とそのサービスを行うが、ブラジルをはじめ南米エリアなどもカバーしている。社員は18名(営業3名、サービス8名)だ。

●絶好調ですが、ISOWAに対する段ボールの評価は

まず根本に機械のクオリティの高さがある。1970年代に導入した機械が今でも現役で何台も動いており、『何があっても壊れない』と信頼されている。製箱機はF

●この17年間の実績はファルコン、アイビス等FFGが40台程度、コル前に若干の空白期間もルゲータ関係はCF40シ

ISOWAの理念で北米開拓

『ヒデユキ(機輪社長)の考え方は非常に新鮮だった』、こう強調したのはISOWAアメリカのロン・ミラー社長。06年に入社以来、風土改革を理解し、「i機」を始めとするISOWAの理念でアメリカ市場を開拓してきた。社長就任は12年、ここ数年はファルコンやアイビスを中心に6、7台販売し、絶好調。来年早々にIAのオフィスを移転拡大し、いずれFFGのデモ機を設置、トレーニングマシンとしても活用する構想だ。来日したのを機会に会社に対する考え方、アメリカの段ボール産業の現状や傾向なども聞いた。

IAのロン・ミラー社長



業(お客様)を大切にす自分で伸びている。包装に結び付いているの材の仕様、規格変更を耳だと思っ。いい機械、いいボールで目立った動きはと上司が押し付ける場合感じない。今のところ段と、社員が自主的に進んボールが使われている。で行う場合とでは、結果 ●デジタルについては

しても信じてもらえない事がある。長い間、合理的に生きて来たので、頭では理解できても、身体に染み付いた価値観はなかなか抜けず、私自身もまだに違和感がありますよ(笑)。

●ロンさんはIAのメソッドにISOWAの理念を理解してもらおうと努力してきました。それによってIAは変わりま

色々な点、色々な意味で変化を肌で感じてい

●最近の傾向や変化で

●最後に

最後に

性はいっしょに理解されて

日本ほど回収インフラが

システムは整っている

理解し、この気持ちを持

たい。ISOWAの機械

渡ってきた。これからの

●今、何社と取引し

古くからのお客様も

●機輪社長の進めた風

●IAのよう

●IAのよう

●IAのよう

●IAのよう

●IAのよう

●IAのよう

●IAのよう

●IAのよう